

今週（9月22日から9月26日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.475～0.478%が中心となった。無担保コールO/N物加重平均レートは、22日(月)が0.476%、24日(水)は試し取りが行われたことから0.478%、25日(木)は0.477%となった。26日(金)は週末となったが、相場に大きな変化は見られず、概ね同水準での出会いが中心となった。

ターム物に関しては、1W～3M程度の幅広い期間で引き合いが散見された。9月末越え要因からショートタームであっても0.60%程度での出会いも見られた。また、ロングタームでは、年内の利上げが意識され始め、レート目線がやや上昇する展開となった。

日銀当座預金残高は、前週末に498兆円程度となっていたが、22日(月)の国債大量償還・利払いにより504兆円程度まで増加した。その後は多少の変動を伴いつつも概ね504兆円前後での推移が続いた。

●債券レボ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね0.49～0.495%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン横ばい圏での推移となった。

26日(金)に実施された3M物入札は、甘い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、特段の出会いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週にあたり、幅広い業態から大型発行が実施された。

市場残高は、週を通して概ね24兆円台半ばで推移した。

発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/22 (月)	45,493.66	1.654	148.21	0.476	0.492	5,038,900
9/23 (火)						
9/24 (水)	45,630.31	1.640	147.80	0.478	0.491	5,035,200
9/25 (木)	45,754.93	1.644	148.68	0.477	0.490	5,048,600
9/26 (金)	45,354.99	1.655	149.74	0.476	0.492	5,039,400

来週（9月29日から10月3日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/29 (月)	野口審議委員 札幌商工会議所における講演		
9/30 (火)	決定会合における主な意見(9月18,19日分 8:50) 8月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 8月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 8月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 10/1発行 27,000億円	9月のシカゴPM景況感指数 9月の米CB消費者信頼感指数 7月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 4-6月期の英GDP確報値
10/1 (水)	9月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50)		9月のISM製造業景況指数 9月のユーロ圏消費者物価指数速報値
10/2 (木)	内田日銀副総裁 全国証券大会における挨拶 9月のマネタリーベース(日銀 8:50) 9月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 10/3発行 26,000億円	8月の米製造業新規受注・出荷・在庫
10/3 (金)	植田日銀総裁 大阪経済4団体共催懇談会における挨拶 8月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 8月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TDB 3M 10/6発行 43,000億円	9月の米雇用統計 9月のISM非製造業景況指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/29 (月) 日銀予想	300	▲ 3,600	▲ 3,300	C P等買入 国債補完	▲ 100 1,000		900	▲ 2,400	TDB3M発行▲43,000 償還44,000
9/30 (火) 弊社予想	900	▲ 4,300	▲ 3,400				0	▲ 3,400	
10/1 (水) 弊社予想	500	▲ 25,200	▲ 24,700	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 32,700	2Y発行△27,000 償還9,800
10/2 (木) 弊社予想	▲ 400	▲ 42,000	▲ 42,400				0	▲ 42,400	消費税・法人税揚げ 年金保険料揚げ
10/3 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 26,000	▲ 26,500				0	▲ 26,500	10Y発行△26,000
週間合計	800	▲ 101,100	▲ 100,300	—	▲ 7,100	0	▲ 7,100	▲ 107,400	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、9月末初の取引を含むことからボラティルな展開が予想される。短国市場は、3日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、29日(月)に野口審議委員 札幌商工会議所における講演、30日(火)に決定会合における主な意見(9月18,19日分)、1日(水)に9月調査の日銀短観、2日(木)に内田日銀副総裁 全国証券大会における挨拶、3日(金)に植田日銀総裁 大阪経済4団体共催懇談会における挨拶、8月の完全失業率・有効求人倍率、海外では、1日(水)に9月のISM製造業景況指数、9月のユーロ圏消費者物価指数速報値、3日(金)に9月の米雇用統計、9月のISM非製造業景況指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入